



笑顔輝く



2 学年通信 11月号

発行日：平成25年11月8日

発行者：鎌ヶ谷市立第二中学校



教育相談がはじまります

学年主任 澁江 優司

今の子供の弱点は？

最近見かけは明るく元気に見えるけれど、ちょっとイヤなことや、うまくいかないことがあると、すぐにあきらめて問題から逃避したり、落ち込んでしまう子どもが増えたといわれています。

今、2年生の中にも行き詰まりを感じている生徒や、すぐに落ち込んでしまう生徒、頑張りきれずにあきらめる生徒、逃げる生徒がいると聞きました。

クラス一丸となって取り組んだ合唱コンクールも終わり、学年全体としては落ち着きを取り戻しつつあり、一年間を通じてもっとも充実した学級・学年の活動ができる時期を迎えました。多くの行事を経験し、学級の仲も深まってきたこの時期に教育相談を行います。

教育相談では、生徒が学校生活をどのように送っているか、何を頑張っているか、何に悩んでいるかなどを話題にし、今後の指導に生かしていきたいと考えております。また、学習・生活の両面から個々の生徒のこの半年を振り返らせ、2年生後半のそれぞれの活動に向けて綿密な計画を考えさせていきたいと思ひます。

中学2年生の秋、中学校生活も折り返し地点をすぎました。

これからは、行事や部活はもちろん、自分自身の普段の生活を振り返り、少しずつ進路を見つけていくべき時期でもあります。この教育相談を機に生徒の皆さんが、担任の先生や保護者の方と、自分の将来についても話し合う良い機会となることを期待しています。

後期委員会委員長決定!!

このメンバーで委員会活動を支援していきます。よりよい二中を目指し、2年生全員が学校の中心となって頑張るときが来たたと自覚して頑張ってください。みんなで委員長をサポートしましょう。

中央委員長	阿部巧実	歌声委員長	笛木双葉
生活委員長	山田倫己	JRC 委員長	齋藤日菜子
学習委員長	奥田祐生	体育委員長	白石魁人
環境委員長	酒井大輝	放送委員長	太田大輝
保健衛生委員長	丸山涼音		

11月の予定

	26日(火)	中間テスト① (数学・理科・国語)
1日(金)	全校委員会	
7日(木)	教育相談 (～13日)	27日(水) 中間テスト② (英語・社会・保健)
14日(木)	千教研	30日(土) PTA バザー
21日(木)	テスト朝練停止	11月 2日(月) バザー代休

2年目の合唱祭、少し大人になりました!



頑張ったこと

私は、みんなに推されて指揮をやることになりました。初めて指揮者をやるので不安がありました。特に合唱コンクールで出来るのが一番不安でした。音楽の時間緊張しながらも頑張って指揮を出来るだけやりました。そうすると、岡野先生に「俺のまねしてみて」と言われました。最初は恥ずかしかったけど、まねしているうちにだんだん面白さが分かってきて楽しくなりました。初めて2年5組と交換会をしたときは、すごく緊張しました。しかし、色々な先生や友達に「指揮が上手い」と言われ、勇気が出てきました。本番の朝の歌練習は、はっきり言ってクラスの声が出ていなかったです。4組の歌が終わり、いよいよ1組の『名づけられた葉』の発表です。最初にアクシデントがあったけど、歌はうまかったです。結果はダメでした。ですが私は、大切なのは団結力だと思いました。これで1組の団結力は深まったと思ひます。次こそは金賞を取りたいと思ひます。



悔しかった銀賞

僕たち2組は、体育祭の学級対抗リレーで5組に負けてしまいました。なので、合唱コンクールでは必ず金賞を取り、5組にリベンジを果たそうと、みんなで一生懸命合唱練習に励みました。でも、結果は2組は銀賞で、5組が金賞でした。この結果にクラスのみんなはすごく悔しそうにしていました。でも、僕はこの悔しさを味わったことで、クラスの団結力がまた一段と強くなったような気がします。なので、僕はこの団結力と今回経験した悔しさを活かして、来年の合唱コンクールではクラス一丸となって最優秀を取り、中学校生活最高の思い出にしたいな、と強く思いました。



来年へのステップ

私たち3組は「消えた八月」を歌いました。この曲は2年生が歌うにしてはとても難しく、合わせ始めるのも他のクラスよりも遅れてしまいました。それでも一生懸命に練習し、「金賞をとる。」という目標を掲げ、みんなで団結していききました。3組は教室で自分たちだけで歌うととても上手なのに、他のクラスの前に出ると全然声が出ないほど上がり症のクラスです。そのため歌声交換会を何回もやり、だんだんと声が出るようになりました。でも本番は緊張のあまり音がずれ、まわりが気になってしまう人もいて、賞に至ることはできませんでした。指揮者賞を受賞することができましたが、クラスの雰囲気はとても沈んでいました。でもこの悔しさをバネにして、来年は最優秀賞を取れるようにもっと団結して頑張りたいです。そしてみんなで良い思い出をつくってほしいなと思ひます。

2学期が始まり、体育祭に向けてバタバタとあわただしく過ごしたと思ったら、今度はすぐに合唱祭の練習が控えており、息をつく暇もなかったことと思ひます。

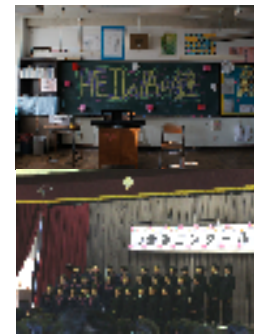
限られた練習期間の中、なかなか思うように練習が進まず、本気で取り組みます叱られたり、目指すものに対する温度差から男女で対立したりすることもありました。しかし、本番が近づくにつれて、徐々にクラスの雰囲気ややる気モードとなってゆき、合唱祭当日はどのクラスも引けを取らない素晴らしい歌声を披露することができました。今回の取り組みから、勝ち負け以上のものを得られたことと思ひます。各クラスから、作文を寄せてもらいました。



やる気

合唱コンクールは、自分はまだやる気がなかった。1年の時にあまりに悲惨な歌声だったからだ。しかし、今年は指揮者という大きな仕事を与えられた。

更に、クラスのやる気がとてもあり、音取りも早く、岡野先生に言われたことを即実行して練習した。担任の先生も給食中に曲を流してくれて、みんながとてもやる気に満ちあふれていた。当日は、みんなとても頑張っていた。結果は残念だったが、来年こそ! という気持ちでいっぱいだ。



合唱祭を終えて

5組 小松 祥也
僕のクラスは、当日までは正直金賞を取れるとは思っていませんでした。なぜなら、練習のときには口を動かさない人がいたり、棚に寄りかかっている人がいたり、やる気がないように感じられたからです。

しかし、合唱祭当日は違いました。今までちゃんと歌っていなかった人もしっかりと歌っていて、良い意味で裏切られた気分でした。他のクラスも良い発表をしていたので、結果がどうなるかがわからず、発表が楽しみでした。

「金賞…5組!」その瞬間、僕はよくわからず固まってしまいました。そして、すぐ笑顔になりました。

僕は合唱祭を通して、クラスの本当の力がわかることができたので、とてもよかったです。来年は最優秀賞を狙い、練習からみんながしっかりと歌えるよう、歌声を引っ張って行けるようにしたいです。



合唱祭を終えて

6組 笛木 双葉
私たち2年6組は、合唱コンクールの取り組みにかかるのが遅く、学年の中でも、そこまでうまくなかったです。クラスでは歌うことが嫌いな人がいました。でも、交換会などを行い、そのクラスの良い所をまねしたり、歌詞カードを作ったりして、細かい所や、盛り上げる所、伸ばす所を徹底的に練習したりして、だんだん1つの良いものを作ろうという気持ちがみんなからもでてきました。私たちの歌は、3年1組の先輩方が去年歌った歌です。私たちが3年1組と交換会を行ったとき、先輩方は私たちにアドバイスをくださいました。それは、出だしの「ほら」という言葉に気持ちを込めて優しく包み込むように歌うことです。私たちは1つひとつの言葉をていねいに歌うことを大事にしてきました。ですから本番には、私たちの1番の合唱をお届けできるように、一生懸命気持ちを込めて歌いました。結果はついてこなかったけれど、この歌で6組がまた成長できたと思ひます。



葛南英語スピーチコンテスト・弁論大会・東葛駅伝で活躍してきました!

みんなの仲間が色々な場面で大活躍です。この先も、生きざまを背中中で伝えられる先輩になれますように!

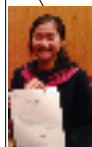
「思い出」の弁論大会

5組 阿部 巧実
僕は、発表者として弁論大会に参加した。自分の番は最初に訪れた。緊張しながらステージへと歩く。まぶしく照らされたステージは、発表の内容であったNHKコンクールの思い出を呼び起こした。発表が終わるころには、それがはっきりとよみがえり、あの時受けた拍手と、今回受けた拍手を重ね合わせている自分がいた。

他校の人たちの発表は、とても心を惹かれる見事な話ぶりだった。そのため、優秀賞は獲ることができなかった。しかし、この経験は僕の世界を広げてくれた。僕は観客の前で堂々と話すことができたのだ。貴重な経験ができて大変嬉しく思う。

英語スピーチコンテストに参加して

1組 石井 沙也香
今回、スピーチコンテストに出場するのは2回目でした。前回は2人1組だったので、発表の際は心強かったのですが、今回は1人だったので気持ちで負けないよう、夏休みから練習を重ねてきました。そのかいもあり、葛南大会で優勝し、県大会で進むことができました。県大会前はテストなどがあり、十分に練習することが出来なかったため、入賞することが出来ませんでした。来年はもっと沢山練習して、スピーチの部で全国大会を目指したいと思ひます。



東葛駅伝を終えて

6組 加藤 瞬
僕は東葛駅伝の4区を走りました。大会の前からケガをしていて、あまり走りこみできませんでした。でも、10人でつなぐ大事な大会で先輩方に迷惑かけたくない、と思い、痛み止めを飲んで臨みました。駅伝当日は、20位前後でタスキを受け取りましたが、10人くらいの人にぬかされてとても悔しかったです。来年はこの悔しさを力にして、よい順位でゴールしたいです。

